Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトマイセス クロモフスカス ホスホリパーゼ D

Cat. No. NATE-0596

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホリパーゼDは、ホスホリピッド加水分解酵素であり、受容体媒介のシグナル伝達□答および調節分泌の重要な成分です。ホスホリピッドおよびスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解し、□□するホスファチジン酸を生成します。ホスホリパーゼDは、ピーナッツにおける干ばつ感受性の付与に関与しており、アフラトキシン汚染のリスクを高めます。
別名	ホスホリパーゼD; EC 3.1.4.4; リポホスホジエステラーゼII; レシチナーゼD; コリンホスファターゼ; PLD; 9001-87-0

製品情報

由来	ストレプトマイセス・クロモフスカス
形態	タイプI、緩衝された水性グリセロール溶液；100 mM Tris/HCl、pH 8.0、10% グリセロール (v/v)、および 0.1% Triton X-100 (w/v) の溶液；タイプII、凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 3.1.4.4
CAS登□番号	9001-87-0
分子量	mol wt ~60 kDa
活性	タイプI、> 50,000単位/mL; タイプII、> 150単位/mg 固体。
単位定義	1ユニットは、pH 8.0および37°CでL-α-ホスファチジルコリンから1μmolのコリンを1時間あたり放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C